

道標ない旅

自分も人も大切に

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



令和3年度 第31号
2021.12.7発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 11月22日(月)に教育委員さんの学校訪問がありました。 ◆◆

校内見学・授業視察を終えて、各委員さんから頂戴したご意見の一部を掲載します。学校の様子を知る手段の一助にして下さい。

- ・建物は老朽化しており、特に光を取り入れる窓の飛散防止フィルムが劣化してるところは直したい。様々な工夫を入れたこの建物自体の面白さが、自ずと学校の雰囲気を作っている。画一的でない空間があり、子供がのびのび生き生きしている。図書室も計算されている。良い図書室である。学校の雰囲気は非常に良い。ICT活用はスムーズにできている。そういうところでの懸念はない。児童たちの雰囲気も良い。先生方もてきぱきとして、指示が明快で板書や語り口もしっかりしていて全体の印象も良い。
- ・クラスの状況は授業がよくできているし、先生の声も通っているのでよかった。マスクの関係もしっかりしていた。今はコロナへの警戒や注意は必要だと思っている。グラウンドは水が溜まるのが気になった。校舎側を何とかしてあげたいと思った。授業自体は居眠りも騒ぎも起こせないような環境ができていた。
- ・5年のICT活用は手慣れていた。1年もChromebookを使いこなせていた。タッチペンの用意の必要性は感じた。一部、低学年でパスワードの紙を広げてクロームブックを使っていたので中学年・高学年には是正して行ってほしい。全般的にタブレットは集中力が高い。やらされ感はなく自発的に使っている感じがした。一点、換気において、教室を締め切っていたクラスが気になった。
- ・授業全体の印象は、各クラス先生と子供の関係は落ち着いていた。普段の授業はきちんと成立していた。ただ授業改善の視点で見たときに、指示は明確・的確に出ており子供もやる事は分かっていたが、子供自身の学びになっていたかは疑問が少し残った。児童自身が、次にこんなことを知りたいと思うような課題の出し方を考えてほしい。教え合う姿があったが、どういう助けを出したらいいのかを児童がわかっていたのでその良さを感じた。タブレットも上手に使いこなしていた(止められない児童はいた。)。割れ窓理論の掲示物が教室にあるクラスがあったが、大事なこと良いことを伝えているなど感心した。
- ・ICTを使いながら、黒板を使いながら、ノートを使いながらと手を変え品を変えやるのが大切。キャリアを持っていなくても、キャリアのある人に追いつける時代になっている。「事前の指示が明確で、個人への指示が明確に与えられ、終わったらどうするのかタイムスケジュールもきちんと与えられている」授業デザインが重要。何人かの人はそこまで達しているような状況にあるが、学校全体の課題として考えて皆さんでやってほしい。教師側のフレームに入れ込むような授業ではなくて、自由度のある、児童生徒みんなで作る授業で、ICTも使いつつ、児童生徒一人ひとりが持っているものを個別に捉えて、伸ばしてあげるような授業を試みて欲しい。

◆◆ 同じ22日に、日産財団理科教育助成に係り、4人の理科の先生方の授業公開も行われました。 ◆◆

教育委員さんをはじめ、葉山町・逗子市からの小・中学校の先生方総勢24名ほどの参観者を得て、本校理科授業についてご意見やご助言をいただきました。来年度に繋がる貴重な体験をさせていただきました。感想をいくつか紹介いたします。

- ・午前通常授業を同じクラスで拝見したが、理科の強みが出ている。児童の教科に対する興味が強いので、このままたくさんの実験を継続的に行ってくださいを期待します。
- ・6年生を中心に授業を参観させていただきました。子供たちに寄り添いながら、一つ一つ丁寧に進められていらっしゃいました。まず課題設定がとても良かったと思います。児童の中から(なぜ)が生まれる教材ですでした。導入で児童の(なぜ)をうまく引き出されていたので、集中力が最後まで続いていた授業だと思います。つぶやきがとても多く出ていたので、それをもっと広げるとさらに子供たちの考えに深まりが出たかもしれません。今日はどうもありがとうございました。
- ・準備からお疲れ様でした。4つの授業を見させていただきましたが、理科の知識が乏しい私が興味を持って知りたいと思える工夫がたくさんでした。昔こういう授業を受けることができていたら、また違った視野で様々なことを見ることができていたかなと感じました。
- ・どのクラスもロイロノートやGoogleクラスルームを有効に活用されていて、大変勉強になりました。子供たちも難なく使いこなしている様子に驚きました。共有や、実験の数値をすぐに可視化できる点、写真など

の情報を整理しやすい点など特に有効だと思いながら見ておりました。本日は貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

- ・4年生の授業について、児童たちが自ら写真などを検索し、共有している様子が伺われた。自由さがあり、しかも、共通の目標に向かって学習している様子が印象的でした。 などなど

同時に取らせていただいた、本校がたてている仮説に対するアンケートを集計したところ、4人の先生の授業の合計や平均は以下の通りでした。

(そう思うの人数、まあ思うの人数、あまり思わないの人数、思わないの人数) 4点満点の重心値

1. 授業づくりの工夫を通して、学びに向かう姿が見られた。 (34、11、3、0) 3.65
2. ICT活用を通し、自信を持って考えを深めている。 (13、23、5、1) 3.14
3. 楽しい理科の学びを通し、学校生活を楽しむ児童に育つ。 (23、22、3、0) 3.42

ICTの活用には、もっと努力が必要なのも感じており、今後も腕を磨いていい授業を展開し、長柄小学校の良い刺激になれるよう、研究を頑張っていきたいと思っています。



◆◆ 12月2日(木)に、4年生が逗子海岸にてビーチクリーンを実施しました。 ◆◆



総合的な学習の時間の一環で、企画された現地での実習です。後日、逗子市・葉山町の企画で大きなビーチクリーンがあるので、「ゴミをなくしてしまっても大丈夫かな?」とも思いましたが、残念なことに、とても取り切れないゴミがまだまだ打ち寄せられているとのことでした。マイクロプラスチック化していくだろうゴミを目の当たりにして、貴重な気づきが沢山あったようです。

◆◆ 12月3日(金)6年生が鎌倉見学を行いました。 ◆◆

風もあまりなく、暖かな日差しの中、延期になっていた鎌倉見学を無事実施することができました。鶴岡八幡宮・鎌倉歴史文化交流館・源氏山公園を必ず行くところとして、思い思いの班別自主行動を楽しんだようです。

鎌倉歴史文化交流館では、学芸員さんからお話を聞く機会が全ての班にあり、学習を深めることができていたようです。



◆◆ 12月6日(月)校内研究全体会として、総合的な学習の時間の授業発表をしました。 ◆◆

総合的な学習の時間は、探究的な学習活動を通して、学校の特色が出せる教科横断的な扱いもできる魅力的な学習機会です。その時間を大切に活用できるよう、同時間の指導助言に大活躍の永田台小学校の校長をお迎えして、本校の総合的な学習の時間の研究に努めてきました。今回は、4年の先生が「海のプラスチック問題」、5年の先生が「磯焼けに対する探究活動」についてそれぞれ授業発表を行い、授業をよりよくしていくにはどんな工夫改善が必要かを学んでいきました。本校の総合的な学習の時間も、ご助言を頂いて、必要な



改善方向が見えてきたのではないかなと感じています。

今後、南郷中学校との接続を意識しながら、形をしっかりと整えていきたいと思っています。

なお、この日は神奈川新聞に県教育委員会が掲載している、「教室へ行こう」の取材も入りました。記事は、1月に掲載予定とのこと。子ども達の生き生きとした様子が伝わればいいなと思います。